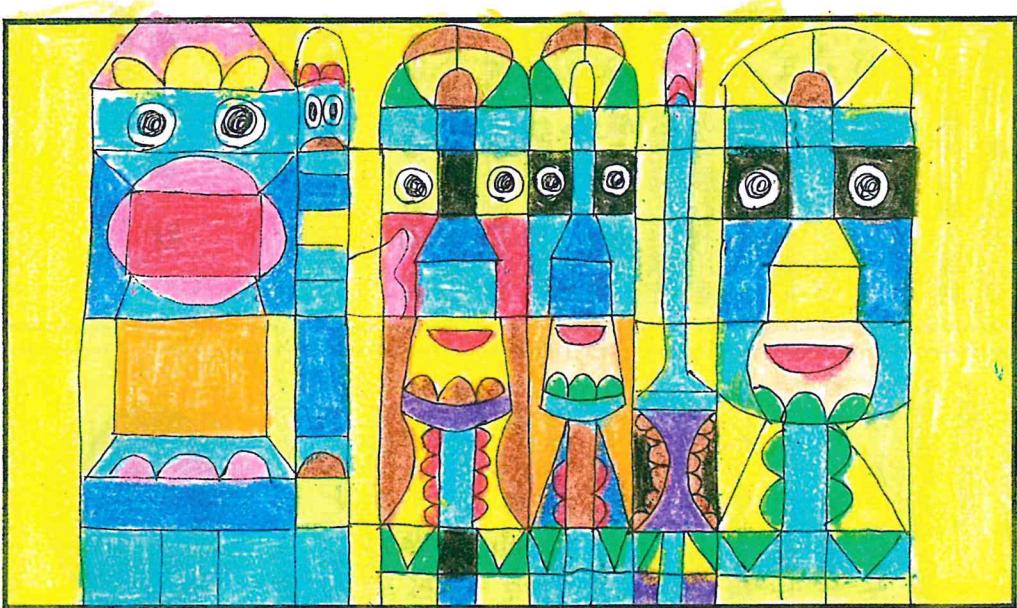


学園だより

発行
社会福祉法人可茂会
障がい者支援施設
可茂学園
〒509-0213 可茂市瀬田1648-9
TEL 0574-64-3366
平成28年8月2日 第30号



包装紙のデザインが決まりました

新しくトイレットペーパーの販売事業をはじめました。

包装紙は利用者さんから募集したデザインです。ご協力ありがとうございました。

第六十八回社会保障審議会障害者部会

施設長 日比野 邦彦

社会保障審議会障害者部会（第六十八回 一〇一五年七月二十四日）の紹介記事で「高齢の障害者に対する支援の在り方の検討」という文章が目に留まりました。

今から二十五年前にさかのぼりますが、当時の入所更生施設では、利用者の長期滞留化・高齢化が課題となり、施設利用者の高齢化に対するハード・ソフトの検討が議論されたことを思い起こしました。当時入所更生施設は通過施設であるじつ認識がある一方で、現実には長期に利用されている方の高齢化が課題となり、高齢知的障害者の「終の棲家」をどう考えどのように対応するのか、という様々な議論がありました。そして各自の施設が、既設の施設で高齢化対応できる環境整備や支援を整えながら、老人施設への移行や、入所更生施設における高齢者棟の整備、知的障害者の高齢者施設の新築等の取組がされた経緯があります。

正直なところ、私は高齢障害者の「終の棲家」について明快な答えは見出せないままですが、これからも多様な選択肢が用意されるよう努めるべきだと思います。

第六十八回社保審障害者部会の議論では、在宅の高齢障害者の地域で支える仕組みや、介護保険法と障害者総合支援法の適用関係、六十五歳介護保険優先の利用者負担額増について、有識者による検討がされています。また、財源問題を中心とした介護保険法と障害者総合支援法の将来のあり方などが議論されています。

今後も、この問題については我々福祉サービスを提供する側について関心の高い事項であり、注視をしていかなければならぬと思います。

可茂学園としても、高齢利用者が今後どこで誰と住みたいのかという本人ニーズを、計画相談や日頃の関わりの中から汲み取りながら、環境整備や高齢者支援の中身の充実に務めなければ、社保審の記事から想いをめぐらせました。

新しく迎えた職員

スマート・エイジング



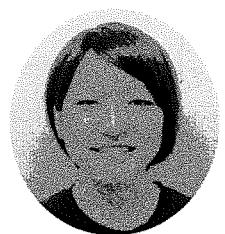
副園長
安 藤 千 秋

三月末に三十七年間勤務した可児市役所を定年退職し、縁あって可茂学園でお世話になることになりました。

可児市役所では、主に年金・医療・介護、障がい者福祉、地域福祉、会計事務などを担当しました。特に福祉課では、障がい者計画の策定を担当し、障がい者の権利擁護、就労、地域移行などに関する計画を策定しました。また、会計課、税務課、議会事務局など様々な部署で、様々な分野の経験をしました。公務員の経験を活かし、微力ですが、可茂学園の発展と利用者の生活支援のために貢献したいと考えています。座右の銘は、スマート・エイジング（華麗に加齢）です。加齢に逆らうアソチ・エイジングではなく、その年齢にふさわしい行動を行い、その年齢に応じた輝きをしたいと考えています。無理な若作りはしません。二十歳代の新人職員のように若さから発する輝きは、ありませんが、年相応に人に喜んでもらいたいという気持ちやチャレンジ精神、チームワークを大切にし、ご利用者の皆さんのために努力したいと思います。ご家族の皆さんには、今後もご指導、ご協力いただきますようよろしくお願ひします。

三ヶ月がたちました！！！

よろしくお願いします！



小 倉 莉 紗

初めまして。今年度から可茂学園で働かせて頂くことになりました。
不安でいっぱいだった四月からあつとう間に三ヶ月がたちましたが、利用者の方々と関わっていく中で元気を分けてもらひ、とても楽しむ毎日です。

可茂学園には大学生時代の実習でもお世話になりました。今年の四月から一緒に過ごせます新的な生活をとても嬉しく思っています。

大学では、幼児教育を専門として学んでいました。生活支援員とは違った分野ではありますが、音を楽しんだり、物で何かを作ったりと、一緒に楽しく活動できるのを多く学びました。大学生活で培ったものを活かして、利用者の方々と関わっていきたいことが出来たらと思ってます。

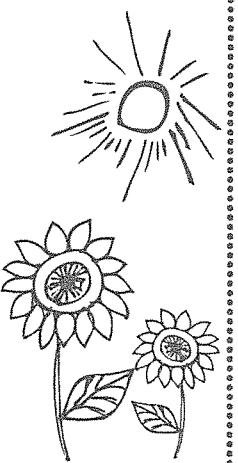
生活支援員として分からぬ事ばかりで未熟者ではありますが、利用者さんの一人一人との関わりを大切にし、日々の生活の中で成長していくけるよう努めていきます。どうぞよろしくお願いします。



武 藤 行 子

四月から、三ツ池ホームの生活支援員になりました。出身は房総半島の端にある千葉県館山市ですが、縁あって可児市に移り住み二十年以上経りました。二十歳を筆頭に十八歳の双子と三児の母であります。

三月まで勤務していました麦の丘の皆さんには、大変お世話になり感謝しています。三ツ池ホームでは、自立しながら利用者個人が自分の人生の主人公となり、夢を叶えられる様支援していきたいと思っています。そして仲間と共に思い出の宝物を増やしていくつもり。これからも試行錯誤の毎日ですが、どうぞ宜しくお願い致します。「ユーモア イズ ライフ」私の好きな言葉ですが、みんなが笑顔になる生活を目指していきたいと思っています。



防災への取り組み

非難訓練



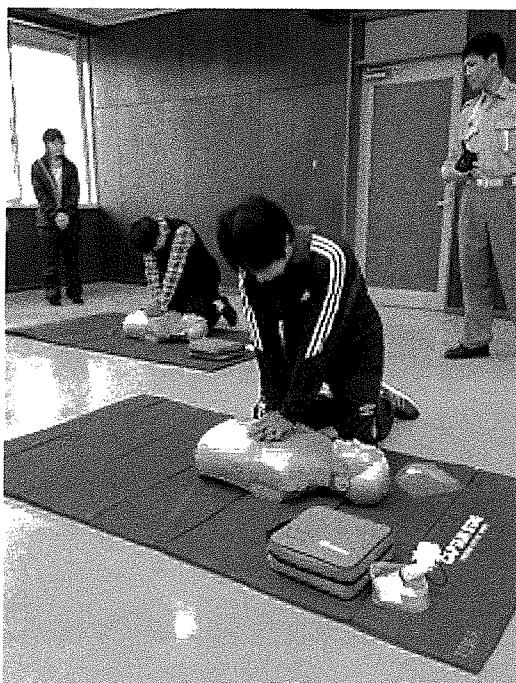
いつ起こるかわからない
災害に備えて

可茂学園では月に1回避難訓練を行っています。年間計画に基づき通常の避難訓練の他、夜間訓練、早朝訓練、花フェスタ記念公園への二次避難訓練、初期消火・通報・救護に至る総合訓練を行っています。また、5月31日には南消防署と御嵩町消防団に協力して頂き、放水訓練も行いました。



災害備蓄

水や食料を備蓄しています。



BCP講習会と救命救急講習会

- ・防災士足立育雄さんによる講習会を開きました。BCPとは災害など緊急事態に遭遇した時に損害を最小限にとどめつつ、早期に事業を可能にする為の技法手法を決めておく計画のこと。
- ・全職員が救命救急講習を受けています。



行事の紹介

可茂学園では、1年を通してさまざまなイベントがあります。

もちつき

杵と臼を使い、本格的なもちつきを行っています。
おもちをつく人と返す人が、タイミングよく声を掛け合いながらつきます。



ボランティアさんがきなこ、あんこ、
すんだをつけてくれます

サンタさん登場



可茂学園ハンドベル部による演奏や保育園児の演奏、職員による出し物など職員が一から企画し運営しています。



職員の出し物
(エアバンド)



(株)ライン様はじめ様々な方に支えられイベントが成り立っています。
心より感謝申し上げます。



トントンさんによる紙芝居

ダンスアウトリーチ



可児市文化創造センター主催の市民参加事業オーケストラで踊ろう！「運命」(28年3月開催)で振り付けを手掛けた森下真樹さんが遊びに来てくれました。

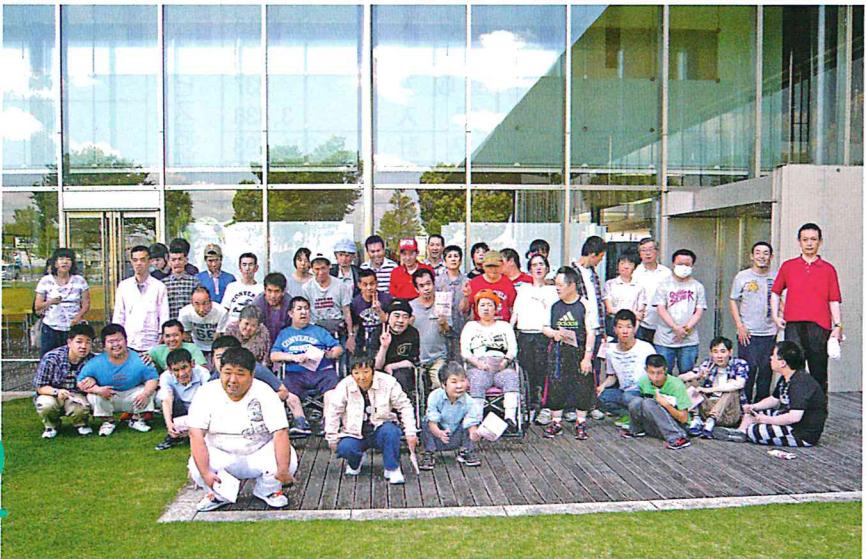
曲に合わせてオリジナルダンスと一緒に踊りました。普段ダンスに触れる事がない為、ダンスのおもしろさに思わず踊りだす利用者さんが続出！大変盛り上りました。

オープンシアターコンサート

可児市文化創造センターへ新日本フィルハーモニー交響楽団のコンサートを聴きに行ってきました。

モーツアルトやチャイコフ斯基の名曲の他に、崖の上のポニョなど私たちになじみのある曲を演奏してくれました。

ヴァイオリンやチェロ、
コントラバスなど10重奏。
たのしかったね！



平成27年度 収支決算書

(単位:千円)

貸 借 対 照 表	
資 産 の 部	負 債 の 部
	決 算 額
流 動 資 産	120,386
現 金 預 金	59,948
事 業 未 収 金	60,425
貯 藏 品	13
固 定 資 産	994,238
基 本 財 産	350,017
建 物 (基 本)	944,152
減 価 償 却 累 計 額 △	-595,135
定 期 預 金	1,000
そ の 他 の 固 定 資 産	644,221
構 築 物	47,121
車 輛 運 搬 具	25,624
器 具 及 び 備 品	45,901
減 価 償 却 累 計 額 △	-90,920
退 職 給 付 引 当 資 産	27,561
人 件 費 積 立 資 産	130,800
修 繕 積 立 資 産	105,800
備 品 等 購 入 積 立 資 産	20,000
移 行 時 特 別 積 立 資 産	13,509
建 設 積 立 資 産	318,700
そ の 他 の 固 定 資 産	125
資 産 の 部 合 計	1,114,624
流 動 負 債	19,845
事 業 未 払 金	7,073
預 り 金	0
賞 与 引 当 金	12,772
固 定 負 債	32,368
設 備 資 金 借 入 金	0
退 職 給 付 引 当 金	32,368
負 債 の 部 合 計	52,213
純 資 産 の 部	
基 本 金	126,761
国 庫 補 助 金 等 特 別 積 立 金	243,046
そ の 他 の 積 立 金	588,809
次 期 繰 越 活 動 収 支 差 額	103,795
(うち 当 期 活 動 増 減 差 額)	56,258
純 資 産 の 部 合 計	1,062,411
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	1,114,624

資金 収 支 計 算 書			事 業 活 動 計 算 書				
事 業 活 動 に よ る 収 支	収 入	障害福祉サービス等事業収入	374,142	サ ー ビ ス 活 動 増 減 の 部	障害福祉サービス等事業収益	374,142	
		生活保護事業収入	12,315		生活保護事業収益	12,315	
		経常経費寄附金収入	1,661		経常経費寄附金収益	1,661	
		受取利息配当金収入	237		サ ー ビ ス 活 動 収 益 計	388,118	
		そ の 他 の 収 入	3,438		人 件 費	242,159	
	事 業 活 動 収 入 計		391,793		事 業 費	45,981	
	支 出	人 件 費 支 出	241,880		事 務 費	32,699	
		事 業 費 支 出	45,981		減 価 償 却 費	35,906	
		事 務 費 支 出	31,857		国 庫 補 助 金 等 特 別 積 立 金 取 崩 額	-23,144	
		そ の 他 の 支 出	2,519		サ ー ビ ス 活 動 費 用 計	333,601	
		事 業 活 動 支 出 計	322,237		サ ー ビ ス 活 動 増 減 差 額	54,517	
施 設 整 備 等 に よ る 収 支	事 業 活 動 資 金 収 支 差 額			サ ー ビ ス 活 動 増 減 の 部 外	受 取 利 息 配 当 金 収 益	237	
	收 入	施設整備等補助金収入	826		そ の 他 の サ ー ビ ス 活 動 外 収 益	3,438	
		施設整備等収入計	826		サ ー ビ ス 活 動 外 収 益 計	3,675	
	支 出	固定資産取得支出	3,671		そ の 他 の サ ー ビ ス 活 動 外 費 用	2,518	
		施設整備等支出計	3,671		サ ー ビ ス 活 動 外 費 用 計	2,518	
		施設整備等資金収支差額	-2,845		サ ー ビ ス 活 動 外 増 減 差 額	1,157	
	経 常 増 減 差 額			特 別 増 減 の 部	經 常 増 減 差 額	55,674	
その他の活動による収支	收 入	積 立 資 産 取 崩 収 入	2,639		施 設 整 備 等 补 助 金 収 益	826	
		そ の 他 の 活 動 収 入 計	2,639		固 定 資 産 受 贈 額	585	
		積 立 資 産 支 出	59,154		そ の 他 の 特 別 収 益	0	
		そ の 他 の 活 動 支 出 計	59,154		特 別 収 益 計	1,411	
	支 出	そ の 他 の 活 動 資 金 収 支 差 額	-56,515		固 定 資 産 売 却 損・処 分 損	0	
		予 備 費 支 出			国 庫 補 助 金 等 特 別 積 立 金 取 崩 額 (除却分)	0	
		当 期 資 金 収 支 差 額 合 計	10,196		国 庫 補 助 金 等 特 別 積 立 額	826	
その他の活動による収支	当 期 活 動 増 減 差 額				そ の 他 の 特 別 損 失	0	
	前 期 末 支 払 資 金 残 高				特 別 費 用 計	826	
	当 期 末 支 払 資 金 残 高				特 別 増 減 差 額	585	
	当 期 活 動 増 減 差 額			差 繰 越 額 活 動 の 増 減 部	当 期 活 動 増 減 差 額	56,259	
	前 期 末 繰 越 活 動 収 支 差 額				前 期 繰 越 活 動 収 支 差 額	103,936	
その他の活動による収支	当 期 末 繰 越 活 動 収 支 差 額				当 期 末 繰 越 活 動 収 支 差 額	160,195	
	基 本 金 取 崩 額				基 本 金 取 崩 額		
	そ の 他 の 積 立 金 取 崩 額				そ の 他 の 積 立 金 取 崩 額	0	
	そ の 他 の 積 立 金 積 立 額				そ の 他 の 積 立 金 積 立 額	56,400	
	次 期 繰 越 活 動 増 減 差 額				次 期 繰 越 活 動 増 減 差 額	103,795	

【お知らせ】

社会福祉法人「可茂会」可茂学園の事業報告、財産目録、貸借対照表及び収支決算書について希望される方は、閲覧することができます。お気軽に可茂学園事務室までお問い合わせ下さい。

なお、簡単な会計報告を表示しましたのでご覧ください。

(事務局)

麦の丘 & 三ツ池ホームだより

麦の丘では

各種イベントでのパン販売、グループ行事である一日外出の付き添い、調理実習と親睦旅行を兼ねたバーベキュー大会、地域とのコミュニケーションを図り啓発活動を行う公民館祭りなど、色々な事で多角的に保護者の方のサポートを受け活動しています。

利用者さん一人ひとり色々な考え、思いがある中で、少しでも多くのことを実現しようとすると職員だけでは限界がありますが、保護者の方の協力を得ることで叶えられる事も多くなり、生活の質の向上につながっていきます。



これからも麦の丘のアルバムに親子が笑顔で写る写真が増えていき、沢山の楽しい思い出が利用者さん一人ひとりの心に刻まれるように、保護者の方の協力を得ながら活動していきます。

三ツ池ホーム

誕生日会



「誕生日メニューの日は美味しかったし、楽しかったです。またよろしくおねがいします。」
利用者 吉田和世さん

新しい仲間が増えました。



「初めて三ツ池ホームに入ってみて、良かったと思いました。これからお茶碗を洗ったり、洗濯をしたり自分で出来るようになりたいです。」

宮口 慶子さん

先輩からのメッセージ

「仲良くしましょう」小川恵美子さん
「お風呂、一緒にはいりましょうね。お出掛けも一緒にしたいです。」梅田久美子さん

「コース料理ではありませんが、喜んで頂けるようなメニューを考えています。利用者の嬉しそうな顔をみて満足しています。味はどうかな？」
世話人より